スポーツの力で
人がつながる
やさしい社会へ

ベガルタ仙台と連携した人権啓発活動を実施しました！

Respect Everyone



活動の概要

令和８年１０月１７日（土）、ユアテックスタジアム仙台で行われた、ベガルタ仙台対徳島ヴォルティス戦（入場者数１３，１５１人）において、人権啓発活動を実施しました。

この活動は、宮城県、仙台法務局及び宮城県人権擁護委員連合会がベガルタ仙台と連携して実施しており、「みんなで人権サポーターになろう」をキャッチフレーズに、いじめの防止など、主にこどもに関わる人権尊重思想の普及を目的として行っているものです。

一人ひとりを大切に
みんなでつくる
豊かな未来





ともに考え、ともに歩む
人権のまちづくり

ともに考え
ともに歩む
人権のまちづくり

Respect Everyone

人権サポーター宣言

スタジアムの大型ビジョンでは、「みやぎ小・中学生いじめ防止動画コンクール」の優秀作品を放映し、いじめのない社会の実現に向けたメッセージを発信しました。

さらに、第４４回全国中学生人権作文コンテスト宮城県大会において仙台法務局長賞を受賞した小関 義恭さんが、「人権サポーター宣言」を行いました。堂々とした宣言の様子に、来場者も耳を傾けていました。

一人ひとりの
思いやりが、
明るい未来をつくります



人権サポーター宣言

「人権サポーター宣言」をして、
誰もが人権を尊重し合う社会を、いっしょに実現していきましょう。

私は、ベガルタ仙台のチームスローガンである「BREAK THROUGH 未来を切り開け」に倣って年齢や国籍、性別による壁をなくし、貶したり不当に扱うことのないように意識して生活していきます。

そして、明るい未来を切り開けるように「人権サポーター」になることを宣言します。

令和8年10月17日

白石市立白石中学校　3年　小 関　義 恭

今後に向けて

サポーター宣言後、小関さんと宮城県職員、仙台法務局職員及び人権擁護委員が、「みんなでなろう 人権サポーター」及び「『いじめ』しない させない 見逃さない」の横断幕を掲げながらピッチ外周を行進し、人権尊重の大切さを来場者に呼びかけました。今回の人権啓発活動を通じて、多くの来場者の皆様に人権について考えていただく機会を提供することができました。

仙台法務局及び宮城県人権擁護委員連合会では、今後も関係機関やスポーツチームと連携しながら、人権尊重思想の普及高揚を図るための啓発活動に取り組んでまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

みんなでつくる
やさしい社会